

令和8年8月

第5・6学年保護者様

大阪教育委員会
大阪市総合教育センター
大阪市立依羅小学校
校長 出石 創二

「大阪市非認知能力調査モデル事業」への参加について

平素より本市学校教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度より、大阪市総合教育センターが実施いたします「大阪市非認知能力調査モデル事業」において、本校が調査協力校として参加し、次のとおり非認知能力の測定及び効果的な育成について総合教育センターと連携し検証をすすめてまいります。

記

1 目的

非認知能力を測定し、「学びに向かう力、人間性等」（＝非認知能力）を客観的に把握することで、エビデンス（客観的な根拠）に基づき、教育活動を改善していくための方策を検証します。

2 実施時期

令和8年8月から令和10年3月（この間に複数回、学習者用端末にて測定を実施）

3 非認知能力の概要

学習指導要領では「知識及び技能」や「思考力・判断力・表現力等」の認知能力と、「学びに向かう力、人間性等」（＝非認知能力）を学校教育の中でバランスよく育成することが求められており、主に「目標の達成」「他者との協働」「感情のコントロール」等のスキルが非認知能力にあたるとされています。

本市では、「学びに向かう力、人間性等」（＝非認知能力）を「学びの土台となる力」と捉え、「目標に向かいねばり強く取り組む力」や、「いろいろな人たちと、互いに理解し合いともに協力する力」、「自分の気持ちを整理しコントロールする力」などの「非認知能力」を学校教育の中で効果的に育成することをめざしてまいります。

4 その他

結果や個人情報の取扱いについては、厳重に管理し、事業終了後に破棄します。